

分裂策動を行う者たちと決別し、新生 JR 東労組の旗のもと

青年部員のための運動を共に推し進めよう！

JR 東労組青年部は、18 春闘の「大敗北」総括から、仲間の信頼を取り戻すべく、思い感じたことを素直に出し合い、青年部員の声から運動をつくりだしてきた。そして全ての運動を組織強化・拡大の取り組みに傾注し、12 地本青年部の総団結に向かってきた。

JR 東労組青年部は、系統別意見交換会（工務、検修、運転・車掌）を継続的に開催してきた。施策に対し「白紙撤回」や単に「反対」を叫ぶのみでは、組合員の雇用や利益を守っていくことはできない。職場の現実を共有し合い、施策にどのように向かっていくべきなのか、再加入した仲間と共に議論を深めてきた。

そのような中、水戸・東京・八王子地本の一部の職場では「JR 東労組に残るのか？」「分裂組織に行くのか？」「組合を脱退するか？」三択が迫られ、青年部員を不安に追い込む分裂策動が行われているという報告がされている。

「保険や協約がどうなるのかも説明が無い」「第一組合をとれないのに分裂しても意味がない」「残るも辞めるも本人の判断と言われている」「あくまでも責任は本人にあると言われた」との不安の声が職場から多数届いている。分裂組織への加入の為に脱退を迫る行為はあまりにも無責任である。分裂策動を行う者たちは組織破壊者であり、即刻分裂策動をやめるべきだ！

本日開催を予定していた第 6 回中央常任委員会では、水戸・東京・八王子地本の中央常任委員が無断欠席をし、中央常任委員会が成立せず破壊された。今後の活動方針や青年部員の利益など、重要な事項を審議し決定するのが「中央常任委員会」である。中央常任委員からは「新生 JR 東労組へと転換して運動を創ってきたが、全てを破壊されたという認識だ」「無断欠席は中央常任委員としての任務放棄であり青年部員への背信行為だ。許すことはできない！」との声が出された。JR 東労組青年部の運動を破壊し、青年部員の利益を守る責任を自ら放棄した行為であり、無責任極まりない！

昨年「第 34 回定期委員会」の委員選挙を実施した水戸・東京・八王子地本青年部から異議申立が提出をされ、虚偽記載であるにも関わらず、あろうことかホームページに掲載をした。東京地本青年部においては委員名簿や規約規則までもホームページに掲載をし、5 チャンネルに流出する事態を招いた。定期委員会において「なぜ全世界に名前を公開されなければならないのか」「組織破壊である」等の発言が出されたが、未だ謝罪すらない。

また「所定昇級額を算出基礎にしないベア」を 20 春闘で求めていくという独自方針を勝手に打ち出し、さらには「東京の青年部員 600 名の総意だ」と偽り、あたかも職場の声だとしている。「20 春闘スト議論」が目指されているとすれば、またもや多くの青年部員を欺くことであり、断じて許すことは出来ない。ウソやデタラメな情報に惑わされてはいけない！分裂策動を行う者は決して青年部員を守ることは出来ない！

JR 東労組青年部は、今もなお、職場で悩み苦しんでいる仲間の皆さんに寄り添い、これからも正しい経過を伝え、共に歩いていく決意である。

新生 JR 東労組運動を破壊し、青年部員を窮地に追いやり、分裂策動を行う組織破壊者と決別し、新生 JR 東労組の旗のもと、共にたたかっていこう！

2020 年 1 月 24 日
東日本旅客鉄道労働組合青年部